

ひじりCAN

聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会
多摩市聖ヶ丘 2-21-1
TEL 042-389-2211
<http://hijirican.org>

5月号



お知らせ

国の緊急事態宣言に基づく市の通達により、

ひじり館は **5 月 31 日(日)まで**延長し、閉館となりました。

- ・貸室予約・取消し等はできません。
- ・電話での問合せは月、水、金曜日をお願いします。
- TEL 042-389-2211 (9:00~17:00)
- ・受付業務の再開スケジュールは、市の自粛解除決定後にお知らせします。
- ・図書館も閉館しています。
- ・状況が変わりましたらホームページなどでお知らせします。

ご理解の程よろしくをお願いします。

2020 年 4 月 30 日 聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会



2020.4.28

○図書館のおはなし会は

9 月末までありません。

○学童の乳幼児開放の

開催は未定です。

○児童館の出張広場は

5 月末まで中止です。

* 状況によって変更もあります。

◇春の利用者懇談会は中止いたします。

ご意見、ご要望はひじり館受付までお寄せください。 総務部

◇ひじり映画会次回「長いお別れ」は延期します。

文化部会

◇6 月 7 日(日) 予定の講演会は中止いたします。

環境部会

CANCAN
雑々!

ご挨拶

民生委員・児童委員 萩原 利明

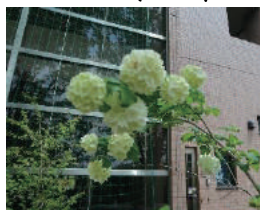
この度、連光寺 6 丁目と連光寺 5 丁目や聖ヶ丘 5 丁目の一部等を担当していた長澤久美子さんの後任として、昨年の十二月一日に厚生労働大臣から民生委員・児童委員を委嘱されました萩原です。長澤さんは、平成四年十二月から二十七年年間民生・児童委員をされ、地域のことを良くご存知ですが、私は、昨年の三月まで多摩市役所に勤めていましたが、地域の皆さんとはあまりご縁がなかったと思います。

多摩市役所では、主に生活保護や社会福祉協議会などの福祉関係の事務や、児童館・学童クラブの館長、コミュニティセンターの建設や運営協議会の支援等を担当してきました。また、地域では連光寺東部自治会の役員や多摩市消防団第四分団の団員としてボランティア活動をしてきました。

現在は、聖ヶ丘こども・お年寄り見守り隊に入り、毎朝、都道の交差点で小学生や中学生の登校時の見守りや安全パトロールを行っています。また、聖ヶ丘小学校の放課後子供教室のボランティアもしています。パトロールを兼ねたウォーキングのおかげで、九十四 kg あった体重が、現在七十四 kg までダイエットすることが出来ました。退職前はボタンが閉まらなかつた上着が、現在はブカブカになってしまい、タンスの肥やしだった昔の服を出して着ています。

新人の民生・児童委員ですが、地域の皆さんの身近な相談相手として、また、福祉支援へのつなぎ役として、必要に応じて専門機関や福祉サービス等の情報を提供し、それらの関係機関等につなぐ活動を行っていききたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



「ひじりCAN」 でつぶやく ～今話したいこと～



我々、戦争体験者からすれば、今のコロナ騒ぎは我慢の範囲です。先の戦争では肉親は戦死、食べるものがなく麦飯に芋づるを入れたご飯さえ有難く食べたものです。飢えと寒さに泣いたあの頃に較べれば、お腹いっぱい食べられて、テレビがあって政府はお金までくれて機嫌をとってくれる。日々の動静はマスコミが必要以上に伝えてくれて、外出禁止といっても弛み、ゆとりがある。国家の一大事にこんなわがまま、贅沢が許されているのかと戦争体験者は痛感します。爆音を聞きながら寒い防空壕で震えていた幼いころの自分がいじらしく、いとおいしい。

(幼少時の戦争体験者の女性)



みんなの食卓プロジェクト

小学生のみなさん、おげんきですか？

わたしたち大学生は、とうぶん家からインターネットでじゅぎょうをうけることになりました。

みなさんはどうしていますか。家でおにぎりをにぎって食べてくれているとうれしいです。おいしいおにぎりをにぎって、みんなにごちそうしてください。また、いっしょにおにぎりをたべましょう。

(多摩大学梅澤ゼミ学生)



学童クラブでは、3月2日の休校開始から一日を通して子どもの受け入れを行い、3月は30～40名、4月は10～20名の子どもたちが登所しています。3月は、こんなに長引くとは思っていませんでしたので、「もう少しだから頑張ろう」と声を掛け、子どもたちが不安にならないよう心掛けていました。

しかし、4月になっても休校は続き、毎日の生活の中で、ゲームを手作りしてきた職員、得意の絵で人気マンガの塗り絵を作ってきた職員など、子どもたちが飽きずに、楽しめる遊びを考えつつ、手洗い、うがいの声掛けや、テーブル、取っ手等の消毒など感染拡大の防止にも気を配る日々が続いています。

保護者の方々に、たくさん協力していただいているおかげで、ここまで体調を崩す子はなく過ごせています。これまでの努力が無駄にならないように、これからも気を引き締めながら、子どもたちが楽しめるように過ごしていきたいと思います。

(学童の先生)



運動不足解消のため、10年ぶりに桜が丘公園を訪れました。聖ヶ丘から大谷戸公園の火垂るの沢、トンボの広場を経て開拓団の招魂碑を抜けて歩きました。途中、こもれびの道だったと記憶しているが、細く曲がりくねった、雨上がりで少し湿った山道の両側には樹木が生い茂り、右側は谷間、木々の間から鶯の鳴き声が聞こえ、まるで深山幽谷の世界に入り込んだような気持ちになりました。更に気が付いたことは、空気の美味しさでした。岩から湧き出る水のように、空気に何ともいえぬ爽やかな味を感じました。我が家の近くには、こんなにも自然に恵まれた場所があるのだと改めて気付かされた一日でした。(泳ぐことは楽しいが散歩はしない男性)



ひじり館の花壇がとてもきれいですね。

さっきポストに郵便出しに行ってみました。沢山の人の見てもらいたいのになこんな時期で残念！多摩市でも感染者がじわじわ増えてきて不安ですね。お元気で。

(運協委員へ友人からのメール)

時代が変わりそう！テレワーク、オンライン帰省、外出自粛で今や相手はコンピューターです。上手に活用できるようになりたいですね。老人会の見守りも傾聴ボランティアもオンラインになるかも？更に入学式を9月にするとの話が持ち上がりました。どういう風に変化していくか未来が楽しみ。

(時代の流れについていきたい女性)

会ってはいけない中で会う方法を考える。

「ステイ・ホーム」と「ソーシャル・ディスタンシング」など新しい英語をよく聞く。英語力がひとつアップしたのを喜ぶべきかもしれないが、これは日本語にすると「ひきこもり」と「ひとみしり」にすごく近いのではないかな。そんなことではだめなので、できるだけ良好なコミュニケーションを！と心がけてきたのに、今回の新型コロナウイルスは何ということをしてくれたんだ！と八つ当たりしてもはじまりませんが、ひょっとすると新型コロナは、いったん古いしがらみを解消して、新しいコミュニケーションのあり方を考えたらどうですか？と言っているのかもしれない。ステイ・ホーム中にじっくり考えてみたいと思います。

(地域のために奔走してくれる人)

高齢者の方へ

いつもと同じ生活はできませんが、ストレスを溜めず工夫をして過ごしましょう。

- ① 家にいても他者と繋がりを持ちましょう。メール、電話、手紙などで。
- ② 三食きちんと食べましょう。宅配などの活用も。
- ③ 家で適度な運動をしましょう。

(明るい笑顔で会える日を楽しみにしている人達)